

日野用水クリーンデイ あれこれ

今年の日野用水クリーンデイは、素晴らしい天候に恵まれ、秋空のすがすがしさを体いっぱい満喫できる日和となりました。

開始時間を待ちきれないほど力が入っている一部参加者の方々は、早々に作業を始められました。その後、地元の皆様が徐々に集まってこられ3箇所に分かれて作業が始まりました。手早く用水路の中に入れて、ペットボトル等のゴミを拾い上げたり、水路敷内の草や木を刈ったり、水路内にはえている藻を切りとって引き上げていきました。今年の夏は酷暑だったことも影響しているのでしょうか、水



路内の藻の量が例年より多いように感じました。

水路内に入らずに、用水脇の歩道に待機している方々がゴミ収集用のビニール袋にゴミや草木を入れていきます。あつというまに、いくつものビニール袋が並べられます。水路にはえていた藻は水分を含んでいるため、見た目よりも重くなります。また、水路敷にはえていた雑草は、軽いけれども嵩がはります。もちろん、可燃・不燃ごみの分別は忘れません。並んだビニール袋が次々とトラックに積み込まれていきます。

日曜日の午前中にもかかわらず、小一時間の短い間に、参加者の皆様の奮闘で、あっという間に日野用水はきれいになりました。

特筆すべきは、若い力の活躍です。近隣の子供達や、法政大学の学生さん達が参加してくれました。近所の子供達には身近に存在している水辺の美しさを改めて知ってもらい、ゴミの多さについて考えてもらう良い機会になったと思います。



また、大学生の皆さんには、学校のゼミで得た知識が、実際の経験の中で体感できる機会になったと思います。用水の形態や歴史等は本でも知ることができそうですが、実際の用水路に捨てられているゴミの種類、用水の中に清掃に入ると水の量や水流の強弱などいろいろなことが体験として理解できると思います。

あれこれ、とりとめもなく書いてしまいました。用水路が将来にわたって美しい流れを保っていかれますよう住民の皆様とともに保全に努めてまいりたいと思います。今年の参加者の皆様、ご多忙にもかかわらずご参加ありがとうございました。

(K・A)

環境月間を振りかえって

水の郷・日野の認知度を高め、緑と清流の保全を図るために、毎年10月に実施しております環境月間の目玉は、市内の子供たちが描いてくれた緑と清流ポスターと市役所1階に展示する市内に生息している生き物達に会えるミニ水族館です。

緑と清流ポスターとミニ水族館は、どちらも毎年好評をいただき、日野の宝である水辺環境について皆様に改めて考えていただく良い機会につながっていると思います。

今年の緑と清流ポスターは92点の応募の中から、小学校・中学校それぞれ15名、合計30名の子供たちが入選しました。その中から、更に小・中学校それぞれ各1名、合計2名の子供達が最優秀賞に選ばれました。

最優秀賞の表彰式は、10月28日(木)市役所において、馬場市長から、小学生の部、日野第七小学校 北田あみさんに、中学生の部、三沢中学校 星 優香さんに表彰状をお渡しいたしました。おめでとうございます。

これからも、緑と清流ポスターが子供達に身近な日野の自然の大切さについて考えてもらうきっかけになることを願い、また、ミニ水族館は市役所に来庁された市民の皆様向日野の自然について、再確認していただけるようになることを願っています。

(K・A)



北田あみさん



星 優香さん